



院内採用薬品数と新規採用薬品数

医薬品を有効・安全に使用する為、科学的視点から評価し、必要な医薬品を選定できているか？を評価する指標です。

採用薬および新薬を定期評価する事によって、採用薬品数を適正に抑え、有効で安全かつ安価な医薬品の提供を実現します。

みどり病院では、半期毎の岐阜民医連県連薬事委員会で、当院での使用実績や患者への効果検証を元に疾患別・薬効群別採用薬の見直しを行っております。

採用薬は毎年減少させておりますが、同規模の他病院と比較すると多い薬品数であり、更なる見直しが必要です。

2017年は1200⇒1060薬品と大幅に採用薬品数を減らしました。また月平均新規採用薬品数も3.5⇒1.8に減少しており、絞り込み選定の取り組みが進みました。

しかし、本採用薬品数は、当院の規模と比較してまだまだ多い数値といえます。今後も、更なる取り組みを進めていきます。

採用薬品数と新規採用薬品数

新規採用薬品数	平均
新規採用薬品数	年間総計

表示：年間合計

